

# 令和5年度 宮城県土木部との意見交換会

広報委員会 渉外部会 浅田 耕司

## 1. はじめに

宮城県土木部と（一社）東北地質調査業協会の意見交換会が、令和5年11月15日（水）14：00～県庁8階土木会議室にて開催されましたので以下にご報告いたします。

## 2. 出席者

宮城県土木部からは、土木部副部長（技術担当）舩谷茂幸様、土木部事業管理課課長 卷博之様、土木部事業管理課 技術副参事兼総括課長補佐 本郷和徳様、土木部事業管理課 工事管理班 技術補佐（班長）岩見英義様、土木部事業管理課 技術企画班 技術補佐（班長）森本大志様、土木部事業管理課 技術企画班 技術主任主査（副班長）蕨武秀文様、土木部事業管理課 技術企画班 技師 横山智裕様の7名がご出席されました。

当協会からは、奥山理事長、橋本副理事長・広報委員長、三浦副理事長・技術委員長、上野理事・総務委員長、熊谷理事、今村理事、菅野理事、久賀理事、佐藤（春）理事、加藤監事、東海林事務局長、泉渉外部会長、野田渉外部会委員、赤井渉外部会委員、浅田の15名が出席しました。

## 3. 主な内容

### 1. 昨年度から引き続きの課題

#### （1）安定かつ継続的な予算の確保

東日本大震災から12年が経過し、本県の復旧・復興におけるハード整備については概ね完了いたしました。近年の頻発化・激甚化する自然災害や土木施設の老朽化への対応など、今後も県土の強靱化を着実に進めていく必要があります。

そのため、国の国土強靱化予算を最大限に活用し、流域治水対策や施設の長寿命化対策等に集中的に取り組むこととしており、政府要望において、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算の総額確保等について、強く要望しております。

さらに、今年度は国土強靱化基本法が改正されたところであり、今後、国において計画期間や事業規模を含めた国土強靱化実施中期計画が策定される見通しです。このことから、本県においても、必要事業費を精査し、中長期的な視点に立って事業計画を立案するとともに、国の中期計画への掲載について努めてまいります。また、必要な予算の総額確保等について、政府へ強く要望しており、社会資本整備の着実な推進と安定した事業量の確保に努めてまいります。との回答が有りました。

#### （2）入札制度の改善

調査基準価格を下回る低入札制度の改善、総合評価落札方式での①担当技術者の実績

要件の拡大、②実施方針型による割合の増加、建コン業務と地質調査業務の分離発注、設計JV制度の活用、なども訴えた。

県からは、品確法の推進、履行確認調査は適切に実施するほか、①管理技術者の手持ち件数の一部緩和、②設計JV制度の活用促進、③管理補助技術者制度の年齢条件の引き上げを取り組んできている。また、一般競争入札・総合評価落札方式の拡大に向けて『競争性の確保』『技術力の確保』『品質の確保』を適切に推進しながら、制度改善の方向性を示した回答でした。

### (3) 業務の早期発注と繰り越し業務の採用

発注時期の平準化に関しては、当初予算に関しても、上半期執行目標を設定しながら、早期執行に努めているところです。今年度も経済対策として、国の補正予算が編成される見通しであることから、早期執行のためのあらゆる方策を講じながら、引き続き、適正な履行期間の確保と発注時期の分散に努めてまいります。

また、現場作業を行う業務は、積雪時期を避けた発注に努めると回答が有りました。

## 2. 要望事項

リモート検尺等を活用することによる時間短縮（業務の効率化）について、ご検討をお願い致しました。

県といたしましては、担当職員の業務端末においてWeb会議が実施可能であり、遠隔臨場も含め積極的に活用できる環境を整えております。若手職員の現場経験の蓄積にも配慮しながら、打合せや現地立会の機会において、積極的にWeb会議システムを活用していくこととしており、今後、活用促進のための簡易マニュアル等も整備予定ですので、受注者の皆様からも積極的な活用提案をお願いいたします。との回答が有りました。

## 4. おわりに

今回も、宮城県から「入札・契約の状況及び制度について」資料が提示され、『制度改善への意気込みが昨年度より深掘りされた資料となりました。また、「地質リスク」に対する考え方も議論が深まり、協会として、更なる重要性を今後PRして行く必要が有ると感じました。

業界に寄り添ったご意見を頂き、多くの活発な議論がなされ、白熱した意見交換会になりました。当協会との意見交換会を快く承諾して頂き、進行や資料の作成など多大なご協力を頂いた宮城県土木部事業管理課の関係各位に厚く御礼申し上げます。また、当協会の渉外部会員ほか司会進行・記録・写真係を担当された方々に深く感謝いたします。